

事業所における児童発達支援自己評価表(公表)

2019年度期

事業所名：TAKUMI（児童発達支援）

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	人数が多い時は小グループに分ける、順番を決める。運動に合わせて縦、横に区切ってスペースを使い分けている。
	2	職員の配置数は適切である	児童発達管理責任者、児童指導員、保育士を配置。法律上の配置数は満たしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	事業所内は全て段差がない構造になっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	毎日清掃しており、掃除機がけ、水拭きでモップがけをおこなっている。換気、気温温度管理も徹底している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	毎日朝礼時、終礼時に指導員全員でミーティングをして情報共有、振り返りを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	毎年評価表を実施している。評価表だけではなく、直接保護者のお話を伺い改善している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	ホームページに掲載している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	第三者評価は実施していない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	定期的に外部研修、内部研修を行っている。各職員の知識・技能向上に努めている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	日々の変化を記録し、児童発達支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	標準化されたアセスメントツールは使用していない。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	発達支援に重点を置き、中でも自立支援・運動・創作・感覚統合・他者への関わりを目的とした個別療育、集団療育を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	日々の記録を参照しつつ、モニタリング等を経て個別支援計画を作成し、それに沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	活動プログラムは複数の職員が担当している。ミーティング時に複数の職員で話し合いながら、利用者の特性に配慮したプログラムを作成している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	活動プログラムが固定しないように、更新や変更をしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	1人1人の目標に沿った計画を立案している。契約日以外でも適したクラス(個別療育、集団療育)があれば事前に案内している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	各職員で役割分担をしている。支援の内容は毎日朝礼時に指導員全員でミーティングをして打ち合わせを行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	毎日終礼時に指導員全員でミーティングを行い気付いた点を共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	毎日利用者ごとにその日の支援に関して記録している。検討事業次第では次回までに検証、改善を行い、個別支援計画に反映させている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	半年以内にモニタリングを行っている。保護者との面談も実施している。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	相談支援事業所のサービス担当者会議がある時は児発管が必ず参加している。	

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	送迎で子育て支援関係機関を利用させていただく場合がある。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	医療的ケア児を受け入れていない。医療スタッフの体制もない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	医療的ケア児を受け入れていない。医療スタッフの体制もない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	現在は行っていない。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	保護者の求めに応じ就学支援シート作成の協力をしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	くろみ幼稚園の研修、発達支援センター主催の各種研修を受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	現在は交流する場や機会を作っていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	三鷹市の連絡会に所属し、会議に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	療育を通して出来たことや課題に関してはその場で伝い合えるようにしている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	歓送迎時、保護者へ機会があればお話をしている。
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	保護者の方からの悩み等に関する相談は指導員や児発管が悩みを聞き出すように声を掛けて助言や支援を行なっている。一人の判断で回答出来ない時はミーティングを行い回答するように心がけている。場合によっては子どもが近くにいらない時間帯に電話をし、相談に応じている。
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	保護者の方からの悩み等に関する相談はその都度一緒に考え共有している。
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	保護者会は行っていない。
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	速やかに対応するように心がけている。
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	会報は発行していないが、必要に応じてお手紙を配布している。
38		個人情報の取扱いに十分注意している	利用者の個人情報については必要な時以外は鍵付きのキャビネットに入れて管理している。各職員取り扱いに注意している。
39		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	視覚的に障がいがある子どもに対しては、見えやすいよう、物の形状や声かけなど伝達の工夫をし、安全面への配慮もしている。
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	現在は行っていない。
非常時等	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	左記マニュアル類はあり、職員には周知している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	定期的に地震避難訓練、火災避難訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	ご利用の契約の際に保護者の方にフェイスシートを記入いただいている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	該当者なし。

の 対 応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	終礼時のミーティングで話し合い。その都度記録している。毎日の振り返りで共有し、対策を打っている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	東京都主催の虐待防止研修に参加。参加した者が講師となって講習したり、虐待防止の資料をもとに内部研修を行なっている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	基本的に身体拘束をしないが他児に危害が及ぶ場合は別室でクールダウンして過ごす。

保護者等からの児童発達支援評価の集計結果(公表)

2019年度期

事業所名：TAKUMI（児童発達支援）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	0	0	0		小グループに分ける、順番を決める。 運動に合わせて縦、横に区切ってスペースを使い分ける等工夫していく。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	0	0	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1	0	0	子どもが自分でトイレに座れるように子ども用トイレがあればいいなと思います。	検討いたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	0	0	0		
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7	0	0	0		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0	2		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	1	0	0	終了後の説明がなくなっていたのでどんな事をやっていたのか、細かくは分からなくなったので…	詳しいアドバイスを明確に伝えていけるように努めていく。 今後運動の年間スケジュールを決めてより個別支援計画と運動プログラムを摺り合わせていく。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	2	0	0	子どもの好きな事が多いのかな。でも、それでいい気がします。新しい物が増えたら嬉しいです。	今後も継続していく。 新しい道具に関しては前向きに購入を検討していく。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	0	2	3		
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	0	0	0		

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	5	0	0	2		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2	1	2	2	保護者に対するペアトレはあまりない。けど、特に希望していない。自分で勉強しています。	家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援に関しては検討中。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていくか	5	2	0	0	出来る事、出来ない事など詳しく教えて頂き、アドバイスがあると助かります。	より詳しく明確に伝えていけるように努めていく。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	0	1	0		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	3	3	父母会の活動を知らなかった。え！必要ないと思います。	保護者会等はないが希望がある場合は保護者同士を繋ぎ、個別に情報共有の場を作っている。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	0	0	2	いつもいつも相談にのる体制ではないけれど、困って苦しい時には助けられている。子どもが小さいうちは大変だから心の支えになって欲しいが、今みたいに大きくなると、困った時のみでOKです。	今後も継続していく。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	1	0	1		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	0	1	5	会報やホームページを知らなかった。知らない間に居なくなる人がいるのは寂しいです。子どもは知っているのかな？と思います。たまに昔の先生の話を読みます。	会報は発行していないが、必要に応じてお手紙を配布している。今後も継続していく。
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	6	0	0	1			
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	6	0	0	1		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1	0	2		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	7	0	0	0	すごく楽しみにしています。大好きです。お友達や先生と活動することをとても楽しみにしています。	今後もお子様にとってTAKUMI三鷹教室が第二の居場所と思って頂けるように継続していく。
	23	事業所の支援に満足しているか	7	0	0	0	いつもありがとうございます。takumiに通えてラッキーな親子です。まだ1年経っていませんが、子どもの成長が著しいです。先生方が手厚くみて頂いているおかげです。ありがとうございます。	今後も支援に満足して頂けるように継続していく。

事業所における放課後等デイサービス自己評価表(公表)

2019年度期

事業所名：TAKUMI（放課後等デイサービス）

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	人数によっては指導訓練室のスペースが足りていない事がある。スペースや運動量を確保する為にグループ毎に分けて療育を行う場合もある。
	2	職員の配置数は適切であるか	児童発達管理責任者、児童指導員、保育士を配置。法律上の配置数は満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	事業所内は全て段差がない構造になっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	毎日朝礼時、終礼時に指導員全員でミーティングをして情報共有、振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	毎年評価表を実施している。評価表だけではなく、直接保護者のお話を伺い改善している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページに掲示している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者評価は実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	定期的に外部研修、内部研修を行っている。各職員の知識・技能向上に努めている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	日々の変化を記録し、個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	標準化されたアセスメントツールは使用していない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	活動プログラムは複数の職員が担当している。ミーティング時に複数の職員で話し合いながら、利用者の特性に配慮したプログラムを作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	活動プログラムが固定しないように、更新や変更をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	日曜日は定休日のため、活動はしていない。土曜日の午前中に課外活動(フットサル)を外部会場を借りて行っている。夏期休暇は、特別プログラムを行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1人1人の目標に沿った計画を立案している。契約日以外でも適したクラス(個別療育、集団療育)があれば事前に案内している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	各職員で役割分担をしている。支援の内容は毎日朝礼時に指導員全員でミーティングをして打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	毎日終礼時に指導員全員でミーティングを行い気付いた点を共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	毎日利用者ごとにその日の支援に関して記録している。検討事案次第では次回までに検証、改善を行い、個別支援計画作成に反映させている。	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	半年以内にモニタリングを行っている。保護者との面談も実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	総則の基本活動の中の「地域交流の機会」については時間的な制約やプログラム上行っていない。それ以外は、基本活動を組み合わせたクラスやフットサルの課外活動が用意されている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	相談支援事業所のサービス担当者会議がある時は児発管が必ず参加している。会議自体は多くはない。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	学校のホームページから年間計画を参照し、情報共有を行なっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	医療的ケア児を受け入れていない。医療スタッフの体制もない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	現在は就学前の各園との情報共有は行っていない。保護者へのヒアリングで情報共有をしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	過去に放課後デイサービスを卒業した児童はいないが、支援内容の情報を提供出来る体制は整っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	定期的に外部研修、内部研修を行っている。各職員の知識・技能向上に努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在は限られた営業時間やプログラムの中では難しい為、実施していない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	三鷹市の放課後デイサービス連絡会に毎回参加し、連携をとっている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	療育を通して出来たことや課題に関してはその場で伝い合えるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援に関しては検討中。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時にその都度している。支援の内容も詳しく説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者の方からの悩み等に関する相談は指導員や児発管が悩みを聞き出すように声を掛けて助言や支援を行なっている。一人の判断で回答出来ない時はミーティングを行い回答するように心がけている。場合によっては子どもが近くにいない時間帯に電話をし、相談に応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者会は行っていない。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	速やかに対応するように心がけている。	
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	会報は発行していないが、必要に応じてお手紙を配布している。	
35	個人情報に十分注意しているか	利用者の個人情報については必要な時以外は鍵付きのキャビネットに入れて管理している。各職員取り扱いに注意している。	
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	視覚的に障がいがある子どもに対しては、見えやすいよう、物の形状や声かけなど伝達の工夫をし、安全面への配慮もしている。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在は行っていない。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	左記マニュアル類はあり、職員には周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	定期的に地震避難訓練、火災避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	東京都主催の虐待防止研修に参加。参加した者が講師となって講習したり、虐待防止の資料をもとに内部研修を行なっている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	基本的に身体拘束をしないが他児に危害が及ぶ場合は別室でクールダウンして過ごす。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約面談時のフェイスシートと面談により、食物アレルギーについて聴取している。「おやつ」ではアレルギー源を含むものは提供していない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	終礼時のミーティングで話し合い。その都度記録している。毎日の振り返りで共有し、対策を打っている。

保護者等からの放課後等デイサービス評価の集計結果(公表)

2019年度期

事業所名：TAKUMI（放課後等デイサービス）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	7	0	運動療育がメインなので、やはりもう少し広さがある方が良いと思います。	小グループに分ける、順番を決める。運動に合わせて縦、横に区切ってスペースを使い分ける等工夫いたします。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	25	8	0	いつも指導時に部屋から出ているので(その方が指導が適切に出来る為)配置数や専門性は正直よく分かっていないのですが、沢山の先生に入れ替わり立ち替わり指導して頂いているようで。 対応の難しい子なので先生方皆さんがらどれだけ子どもへの対応を理解してくださっているのかが少し心配です。お話ししたことない先生もいるので話してみたいとは思っています。	検討させていただきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	26	7	0	-	-
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	32	1	0	-	-
	5 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	30	3	0	プログラムを希望しても中々反映されないと感じる一面はあります。	検討させていただきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	16	13	たまには外出等の機会を作ってもいいのではないかと思います。 土曜に多くても1.2回しか参加できないためわかりかねます。	運動プログラムがメインとなっておりますので、現状外出の機会を増やすことは難しいです。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	1	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	33	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	2	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	14	17	1年に1回だけでもいいので、交流会みたいな物も、あってもいいのかなと思います。 保護者は開催してますか？ 通所しているが親同士の交流は今まで行われていない。希望している親が少ないのか？ 保護者会みたいなものは他の事業所ではある所があります。	保護者会等はないが希望がある場合は保護者同士を繋ぎ、個別に情報共有の場を作っていきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	27	5	0		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31	2	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	14	2		
14 個人情報に十分注意しているか	29	4	0			

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	13	4	子ども達は避難訓練をしていたことがありませんでしたが、親がもしもの時に施設の対応をわかっていないと思いました。子ども含めて把握出来ているのでこのような評価にさせていただきました。(どちらでもない)	保護者への周知を今後実施していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	12	5		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	30	3	0	自己肯定感を育む場所として毎週楽しみに通所しています。	今後もお子様にとってTAKUMI三鷹教室が第二の居場所と思って頂けるように継続していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	32	1	0	駐車場が3台しかないのに、職員の方が1台使用しているのは何故ですか？他に駐車場を貸りて保護者に優先的に使用出来るようにして欲しい。 運動が苦手な子どもが楽しく身体を動かすことが出来る機会を提供して頂き感謝しております。	駐車場の件に関しては早急に対応しました。 今後も支援に満足して頂けるように継続していきます。